

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	商工振興一般管理事業			310102	担当課	産業観光課	
	開始年度	平成1(1989)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	前田 剛		
	歳出費目	款) 商工費	項) 商工費	目) 商工業振興費	決算附属資料	180・182	頁	
	施策の大綱	商工業の振興			関連計画等	-		
	施策名	商業を活性化する			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	福知山市の商工業振興及び産業の発展並びに雇用の促進、中心市街地活性化等を図るための各事業の更なる充実と向上を図る。						
	対象者	市民	対象者数	79,471	一人当たりコスト	0.05		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>						
	事業概要	福知山市の商工業振興及び産業の発展並びに雇用の促進、中心市街地活性化等にかかる各事業を行うための事務的経費。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		役務費		通信運搬費、手数料、筆耕料、保険料			845	
賃金		臨時職員 賃金			362			
需用費		消耗品費、印刷製本費、光熱水費、高速道路使用料			222			
旅費		職員旅費			210			
備品購入費 他		備品購入費103千円、負担金補助15千円、使用料14千円			132			
関連事業								
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		1,110	1,200	1,282	1,730	
		補正予算等・・・②		820	599	0	0	
		繰越し等・・・③		0	0	0	0	
	財源内訳	一般財源		1,930	1,799	1,282	0	
		国支出金		0	0	0	0	
		府支出金		0	0	0	0	
		地方債		0	0	0	0	
		その他特財		0	0	0	0	
		特定財源名称 (H29実績)					頁 頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		1.19/0	0.31/0	0.31/0	/	
概算人件費・・・④		9,520	2,480	2,480				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			11,450	4,279	3,762			
執行状況	執行額・・・⑥		1,930	1,771				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	98.4%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
				/	/	/		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		内部・関係機関との協議	回	12/12	12/12	/12		
		単位あたりコスト		160.8	147.6			
			回	/	/	/		
単位あたりコスト		0.0	0.0					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	必要物品等を滞りなく用意することにより、課の運営に貢献した。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	事務管理的経費として、一括管理ができることで、産業振興課における各事業の事務処理を円滑に行うことができる。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	事務管理的経費として、各事業の円滑な推進に寄与している。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	商工業振興及び産業振興を推進するための事務については最小の経費で実施している。本事業により、その他の各事業が円滑に行えている。	
	今後の課題及び方向性	今後においても引き続き事務の簡素化や効率化を図り、経費削減に努める。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用の促進や中心市街地活性化等を図るための事業として、必要なものとそうでないものを常に検証しつつ実施していく必要がある。 ・活動実績指標を見直すこと。 		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p>		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<p style="text-align: center;">方針区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし 	<p style="text-align: center;">内 容</p> 必要経費と判断したもののみ予算要求	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<p style="text-align: center;">予算額の反映状況(対H30)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充 	<p style="text-align: center;">担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】</p>	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	中心市街地誘客・回遊促進事業			310166	担当課	産業観光課
	開始年度	平成29(2017)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	大西 孝治	
	歳出費目	款) 商工費	項) 商工費	目) 商工業振興費	決算附属資料	182	頁
	施策の大綱	商工業の振興			関連計画等	福知山市中心市街地活性化基本計画	
	施策名	商業を活性化する			根拠法令等	-	
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()					
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	中心市街地の特色を住民自らの力で引き出していくことを目指した取り組みを行い、回遊性を高めるとともに、中心市街地の魅力を発信し、誘客を促進することで、中心市街地に賑わいを生み出す。					
	対象者	観光客及び市民	対象者数	946,618	一人当たりコスト	0.01	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> 福知山まちなかフェスティバル実行委員会					
	事業概要	商工業関係者・鉄道関係者・行政等で構成される実行委員会が実施する事業に対して補助金を交付する。 H29年度は台風21号により中止となった。(中止に伴い、国庫補助事業ではなく市単独事業となった) 【実行委員会事業概要】 ・ミニSL乗車会(※平成30年度は御霊公園内のみで実施予定) ・各商店街等イベント					
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目	具体的な内容			H29経費	
	負担金補助及び交付金	中心市街地誘客・回遊促進事業補助金			4,310		
	関連事業						
予算と執行の状況	区分		H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算…①	0	8,300	1,000	0	
		補正予算等…②		△ 3,990	0	0	
		繰越し等…③	0	0	0	0	
	財源内訳	一般財源	0	4,310	0	0	
		国支出金	0	0	500	0	
		府支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他特財	0	0	500	0	
		特定財源名称 (H29実績)					頁 頁
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0/0	0.73/0	0.73/0	/	
概算人件費…④		0	5,840	5,840			
	総事業費(①+②+③+④)…⑤	0	10,150	6,840			
執行状況	執行額…⑥		0	4,310			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		-	100.0%			
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		来場者数	人	/	0/20,000	/10,000	/20,000
				/	/	/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		同時開催イベント数	事業	/	0/13	/10	13
		単位あたりコスト		0.0	0.0		
			/	/	/		
	単位あたりコスト		0.0	0.0			

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	中心市街地でのイベントが減少し、活気が失われていくなかで、ミニSLイベントや新たなイベントを待ち望む市民の声は多く、民間と行政が一体となって取り組む必要がある。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	行政主体ではなく、実行委員会主体で取り組み、さらに民間業者への業務委託も有効に活用することで、事業の円滑な実施を行うことができる。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	過去に開催されていた「鉄道ワンダーランド」の開催内容を分析し、適切に設定されている。(平成29年度は台風により中止。平成30年度は道路工事により御霊公園内のみ)
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	平成29年度から開始したが、平成29年度は台風により中止した。なお、事業は中止となったものの、事業開催準備に伴い発生した機材購入等の需用費及び既に業務が履行されていた広報業務等の委託料などに対する補助金を支出した。		
	今後の課題及び方向性	商店街、鉄道関係者などとの連携をさらに深め、市民が注目し、訪れてみたいと思えるような魅力ある事業を実施し、来訪者を増やし、中心市街地の賑わいを生み出していく。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所見 ・イベント中止の結果・最終的に要した費用について明確にしておくこと(記載も含む) ・イベントの成否のみならず、市民的な盛り上がり・ボランティア等の協力・協賛金の獲得など、今後の方向性を占う点については客観的に評価すること		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	平成30年度において、中心市街地に多くの誘客と回遊をもたらしたイベントではあったものの、市民や企業・団体からの協賛金及びボランティア等による協力を十分に得られず、また、収益源として新たに導入したミニSL乗車料についても、ミニSL愛好家及び実行委員会でも反対意見が多く、今後の継続について自立的かつ持続的な運営の目途を立てることができないため廃止する。	
		予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	福知山城憩いの広場(ゆらのガーデン)管理事業			310202	担当課	産業観光課			
	開始年度	平成24(2012)		終了予定年度	平成32(2020)		作成責任者	大西 孝治		
	歳出費目	款) 商工費	項) 商工費	目) 商工業振興費			決算附属資料	182・184	頁	
	施策の大綱	商工業の振興			関連計画等	中心市街地活性化基本計画				
	施策名	商業を活性化する			根拠法令等	-				
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()								
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	平成24年4月24日にオープンした市民憩いの広場と7つのショップ群からなる福知山城憩いの広場「ゆらのガーデン」を、出店者協議会や市民参加のガーデニングサークルと連携を図りながら中心市街地への回遊の拠点として、また、街のシンボルとなるお洒落な「四季の彩に満ちた和み空間」として維持管理することにより、市民や来街者が憩える場を提供するとともに、関連事業との連携により、まちなかへ誘導していくことで、まちなかの活性化につなげる。								
	対象者	観光客及び市民	対象者数	946,618		一人当たりコスト	0.01			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 西日本エスエスシー、(社)福知山シルバー人材センター								
	事業概要	「四季の彩りに満ちた和み空間」をテーマにゆったりとしたより良い時間を過ごせる魅力的な空間にし、中心市街地への回遊の拠点としての機能を発揮させるため、市民参加のガーデニングサークルと連携を図りながら、良好な維持管理を実施する。								
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容				H29経費		
		委託料		植栽・芝等維持管理業務、日常清掃等維持管理業務他				2,048		
需用費		光熱水費、修繕料、消耗品費				971				
負担金補助及び交付金		ガーデニングサークル運営交付金				500				
役務費		通信費、廃棄物搬入手数料、保険料				251				
備品購入費		ゴミストッカー購入費				214				
関連事業										
予算と執行の状況	分			H28	H29	H30	H31要求			
	事業費	当初予算・・・①		5,251	4,484	4,159	3,808			
		補正予算等・・・②		△ 51	0	0	0			
		繰越し等・・・③		0	0	0	0			
		財源内訳	一般財源		2,573	2,199	2,026	3,719		
			国支出金		2,572	2,198	2,026	0		
			府支出金		0	0	0	0		
			地方債		0	0	0	0		
			その他特財		55	87	107	89		
	特定財源名称(H29実績)	地方創生推進交付金			1,016	国補助金	18 頁			
		占用料等			95	使用料	10 頁			
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.74/0	0.26/0	0.33/0	/				
	概算人件費・・・④		5,920	2,080	2,640					
②+③+④)・・・⑤			11,120	6,564	6,799					
執行状況	執行額・・・⑥		4,853	3,983						
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		93.3%	88.8%						
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		来場者数	人	136,463/135,000	117,173/138,000	/140,000	140,000			
				/	/	/				
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		ガーデニングサークル活動参加人数	人	290/220	281/220	/220	220			
		単位あたりコスト		16.7	14.2					
広場利用回数	回	31/12	13/12	/12	12					
単位あたりコスト		156.5	306.4							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	市民参加型サークルと協働で管理することにより、中心市街地への回遊の拠点として、中心市街地活性化と福知山の魅力発信につながる必要不可欠な事業である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	福知山市中心市街地活性化基本計画ファーストプロジェクトであり、広場の活性化を図ることは、中心市街地への回遊の拠点であるため、有効な事業である。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	官民協働で維持管理を行うことで効率的に事業が実施できており、街のシンボルとなるべくより多くの市民や来街者に憩える場が提供できている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	水害等の影響でテナント数が一時的に減少していたこともあり、来場者は減少したものの、市民参加のガーデニングサークルとの協働により、適切な維持管理が図られている。		
今後の課題及び方向性	平成30年3月より、全テナントが開業し、集客の伸びも期待できることや、市、ガーデニングサークル、福知山まちづくり会社、ゆらのガーデン出店者協議会が連携し、今後も維持管理を継続し、まちなかの活性化につなげる。			
庁内及び外部による評価	所 見			
	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】			
三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見			
	<ul style="list-style-type: none"> ・市の土地、まちづくり(株)の店舗建物、出店テナントの中で、今後は管理コストを吸収していけるように、管理エリア、内容を区分していくべき内容である。H32年以降は商業スペースとしてテナント代の中に管理費を組みこめるようなやり方も検討を。 ・目的はまちなかの商業の活性化なので、その目的を達成する仕掛けがされておらず、公園整備をすることで事業が完結してしまっている。故に、事業内容も見直しが必要であると考え、成果指標も、まちなかの商業の活性化を図る指標を再検討する必要があるのではないかと。 ・出店店舗も、費用負担をしていく方向で検討されてはいかかがか。 ・まちなか回遊につなげる仕掛けが今後ともとめられる ・ガーデニングサークルの活動の場を広げたり、PRしたりする工夫があると良い ・ガーデニングサークルへの補助対象については要精査(バス研修等) 			
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	内 容 現状においては、公園管理の費用を市が負担している状況であるが、テナント周辺環境の整備という点で共益費のような観点からテナントにも管理コストの費用負担をお願いできるよう検討を進める。 また、まちなかの商業活性化の目的達成のために、成果指標の見直しを検討する。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	福知山鉄道館ポップランド運営事業			310209	担当課	産業観光課		
	開始年度	平成10(1998)	終了予定年度	平成29(2017)	作成責任者	大西 孝治			
	歳出費目	款) 商工費	項) 商工費	目) 商工業振興費	決算附属資料	184	頁		
	施策の大綱	商工業の振興			関連計画等	-			
	施策名	商業を活性化する			根拠法令等	-			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	「鉄道のまち」福知山を広くPRし、市内外からの来街者の誘導を促し、中心市街地活性化を図る。 ※平成29年度で事業終了(福知山鉄道館ポップランド2号館維持管理事業については、中心市街地活性化基本計画推進事業に統合)							
	対象者	観光客及び市民	対象者数	946,618	一人当たりコスト	0.01			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 福知山鉄道館ポップランド運営委員会							
	事業概要	福知山鉄道館ポップランド及びポップランド2号館の運営並びにポップランドが行う企画イベントの実施、PRのための他イベントへの参加事業に対して補助金を交付した。また、当館内の旧福知山駅周辺のパノラマ模型(鉄道Nゲージ併設)の管理・監視、軽微な修繕、オートレール(パソコンソフトによる自動運転装置)の設定・調整業務を委託した。							
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費		
		負担金補助及び交付金		ポップランド運営事業補助金			2,000		
委託料		パノラマ模型維持管理業務委託料			710				
報償費		ポップランド2号館SL清掃作業謝礼他			130				
需用費		ポップランド2号館電気代・水道代・修繕料			68				
旅費、役務費		旅費7、役務費36			43				
関連事業									
予算と執行の 状況	分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		2,901	2,900	0	0		
		補正予算等・・・②			70	0	0		
		繰越し等・・・③		0	0	0	0		
		財源内訳	一般財源		1,451	1,520	0	0	
			国支出金		1,450	1,450	0	0	
			府支出金		0	0	0	0	
			地方債		0	0	0	0	
			その他特財		0	0	0	0	
	特定財源名称 (H29実績)	地方創生推進交付金			1,238	国補助金	18	頁	
								頁	
員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.30/0	0.25/0	0./0	/			
	概算人件費・・・④		2,400	2,000	0				
②+③+④)・・・⑤			5,301	4,970	0				
執行状況	執行額・・・⑥		2,848	2,951					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		98.2%	99.4%					
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		来館者数	人	17,039 / 12,000	23,213 / 18,000	—	—		
				/	/	/			
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指 標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		イベント開催回数	回	2/2	4/2	—	—		
		単位あたりコスト		1,424.0	737.8				
			/	/	/				
	単位あたりコスト		0.0	0.0					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	鉄道のまちのシンボルとして、多くの市民から愛されている施設であるものの、施設の老朽化に伴い休館したことを機に、市民ニーズや民間導入について検討する必要がある。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	△	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	入館料制の導入なども含めて、施設運営のあり方を検討する委員会の設置に向けて、有識者及び関係者等と協議を行った。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	高校生と連携した事業実施など、運営者が工夫して運営をしており、H29年度の来館者は2万人を越え、開館からの累計来館者数30万人を達成した。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	イベントの開催や展示物の紹介により、平成25年度には1万人を下回っていた入館者数が、平成29年度は2万人以上となり目標を達成し、市内外から中心市街地への誘客につながり、中心市街地の活性化に寄与した。	
	今後の課題及び方向性	施設の老朽化等により、H29年度末に施設を休館。今後については、あり方検討委員会の提言を踏まえて、総合的にあり方を検討する。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所見 ・特になし		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	平成30年度における福知山鉄道館ポッポランドのあり方検討委員会の提言内容を踏まえ、再開する場合は、新規事業を立ち上げる。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	福知山パーキング管理事業			310247	担当課	産業観光課		
	開始年度	平成27(2015)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	大西 孝治			
	歳出費目	款) 商工費	項) 商工費	目) 商工業振興費	決算附属資料	184	頁		
	施策の大綱	商工業の振興			関連計画等	中心市街地活性化基本計画			
	施策名	商業を活性化する			根拠法令等	-			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	中心市街地の大型駐車場である福知山パーキングの維持管理を適切に行うことで、市民や来街者が円滑に駐車することができようにし、まち歩きやまちなか観光を促進させ、中心市街地の活性化を図る。							
	対象者	観光客及び市民	対象者数	946,618	一人当たりコスト	0.01			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>							
	事業概要	福知山パーキングに設置している駐車管理機器の賃貸借及びエレベーターの修理を実施。H30年度は、鉄骨の錆びが進行し雨漏り等の原因にもなるため、塗装工事を実施予定。							
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費		
		使用料及び賃借料		駐車管理機器賃貸借料(長期継続1/5年目)			1,879		
需用費		修繕料			348				
関連事業									
予算と執行の 状況	分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		980	2,040	4,680	5,647		
		補正予算等・・・②		0	189	0	0		
		繰越し等・・・③		0	0	0	0		
		財源内訳	一般財源		980	702	3,153	4,120	
			国支出金		0	0	0	0	
			府支出金		0	0	0	0	
			地方債		0	0	0	0	
			その他特財		0	1,527	1,527	1,527	
	特定財源名称 (H29実績)		御霊公園福知山パーキング貸付収入		1,527	財産貸付収入	30 頁		
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.02/0	0.05/0	0.05/0	/			
	概算人件費・・・④		160	400	400				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			1,140	2,629	5,080				
執行状況	執行額・・・⑥		0	2,228					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		0.0%	100.0%					
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		広小路通り歩行者自転車通行量	人	593 /850	754/867	/884	917		
				/	/	/			
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指 標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		パーキング利用台数	台	47,948/41,500	49,605/45,600	/50,000	55,300		
		単位あたりコスト		0.0	0.045				
		/	/	/					
単位あたりコスト		0.0	0.0						

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	広小路界隈、御霊公園など中心市街地の回遊の拠点となる重要な駐車場である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	計画的に修繕や管理機器の賃貸借をすることで、コスト削減や効率化が図られている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	計画的に機器の更新や施設修繕等を実施していくことで、施設利用者の利便性の向上につながる。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	まちなか回遊の拠点のひとつとして、まち歩き観光促進事業と併せて利用台数の増加が図られ通行量の増加に寄与した。	
	今後の課題及び方向性	駐車場の鉄骨部が錆びて塗装が剥離しているため、順次塗装修繕を行い施設の適正な管理運営が必要となっている。(H27年度に南面塗装修繕実施済み)		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所見 ・パークイングの所有に関して今後まちづくり会社に限らず民間に譲渡していく方向で検討した方がよいのではないか。その際は、商店街やまちづくり会社との今後の展望の共有や調整が必要。 ・対象者数は、平成29年度のパークイング利用者に修正すること。 ・まちづくり会社の運営状況等を踏まえ、将来的にはまちづくり会社への福知山パークイング譲渡を検討いただきたい。		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	施設の老朽化による不具合が発生しているため修繕料を計上する。また、パークイングの今後の方向性について、福知山まちづくり株式会社の運営状況を踏まえて協議を進める。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	地域資源の活用と創業支援による交流人口倍増戦略事業			310252	担当課	産業観光課		
	開始年度	平成27(2015)		終了予定年度	平成32(2020)		作成責任者	大西 孝治	
	歳出費目	款) 商工費	項) 商工費	目) 商工業振興費	決算附属資料		184	頁	
	施策の大綱	商工業の振興			関連計画等	福知山市中心市街地活性化基本計画			
	施策名	商業を活性化する			根拠法令等	-			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	地方の商店街は、いずれの地域も郊外型やロードサイドへの大型店の進出、後継者難や店主の高齢化等により個店だけでなく組織としても新たな投資が困難となっている所が増加している。このため、従来にない公民協働の新たな事業モデルを戦略的に組み立て実施することで地域経済全体の循環を促し、中心市街地の賑わいと交流人口の倍増を図る。							
	対象者	観光客及び市民	対象者数	946,618		一人当たりコスト	0.01		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 福知山フロント株式会社							
	事業概要	中心市街地活性化に取り組む福知山駅正面通りの福知山フロント株式会社が行う、商店街をベースに空き店舗等の利活用を提案することで飲食店やゲストハウス等を開設するとともに、広域的な地域資源の活用によりインバウンド観光等を盛り込んだ新たな観光面での受け皿を構築する事業に対して補助金を交付する。							
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目	具体的な内容				H29経費		
	負担金補助及び交付金	地域資源の活用と創業支援による交流人口倍増戦略事業補助金				6,000			
関連事業									
予算と執行の状況	区分		H28	H29	H30	H31要求			
	事業費	当初予算・・・①	6,000	6,000	6,000	4,000			
		補正予算等・・・②	0	0	0				
		繰越し等・・・③	0	0	0				
	財源内訳	一般財源	3,000	0	0	2,000			
		国支出金	3,000	3,000	3,000				
		府支出金	0	0	0				
		地方債	0	0	0				
		その他特財	0	3,000	3,000	2,000			
		特定財源名称 (H29実績)	地方創生推進交付金		3,000	国補助金	18 頁		
		地域振興基金繰入金		3,000	基金繰入金	36 頁			
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0.33/0	0.15/0	0.15/0	/			
		概算人件費・・・④	2,640	1,200	1,200				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤		8,640	7,200	7,200					
執行状況	執行額・・・⑥		6,000	6,000					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	100.0%					
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		駅正面通りの歩行者・自転車の通行量	人	682/699	1,059/713	/727	/755		
				/	/	/			
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		駅正面通りでの新規開業数	件	2/2	1/2	/3	3/10		
		単位あたりコスト		3,000.0	6,000.0				
		回	/	/	/				
	単位あたりコスト		0.0	0.0					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	駅正面通りリニューアル事業は、第2期中心市街地活性化基本計画の主要事業の1つであり、駅正面通りの有志で設立された福知山フロント㈱と一体となり、着実に推進していく必要がある。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	地元に誇りと愛着を持つ人たちが構成された組織に対して補助金を交付することで、迅速に創意工夫をこらした取り組みが実施されている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	事業の展開にあたっては、福知山フロント株式会社と情報を共有し取り組んでおり、無理・無駄がないように進めている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	駅正面通り商店街の再生計画の策定、駅正面通り商店街(周辺含む)の空き店舗等の有無の調査、ゲストハウスや飲食店の開設に取り組んできた。 平成29年度は、平成28年度に開業した店舗の認知拡大及び新規店舗開業により、目標値を大幅に超えて達成した。	
	今後の課題及び方向性	今後は、これまでの事業の認知度をあげることで、空き店舗所有者の理解・協力のもと、更なるテナントの誘致を図る。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見 ・補助金事業ありきのスキームになりがちな事業でもあるので、H32年以降のスキームと目標を念頭に置きながら内容を見直し必要 ・アウトカム指標の見直し ・補助金先の業務活動がわかるような実績アウトプットの見直し ・事業の具体的な事業概要がわかりにくいので、もう少し概要を記載して頂きたい。 ・目的と成果指標を具体化して、成果を計ることが必要なのではないかと ・きっかけづくりの事業であるはず。自走に向けたスケジュール、ビジョンを市・事業者と共有しておくべき		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	空き店舗所有者等の理解のもと、テナント誘致等において成果を出されており、平成32年度以降、自立的かつ持続的にエリアマネジメントを行っていただくことを見据えて、段階的に予算縮減を行う。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	商店街等振興事業 (310107)			担当課	産業観光課	
	開始年度	平成19(2007)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	大西 孝治	
	歳出費目	款) 商工費	項) 商工費	目) 商工業振興費	決算附属資料	182	頁
	施策の大綱	商工業の振興			関連計画等	福知山市中心市街地活性化基本計画	
	施策名	商業を活性化する			根拠法令等	-	
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()					
s	事業目的 (あるべき姿)	商店街は古くから「まちの顔」として重要な役割を果たしてきたが、経営者の高齢化や後継者の不在などに起因した空き店舗の増加や来街者の減少により賑わいが失われ、街全体の活力の低下に大きく影響している。地域商業全体を底上げするための取り組みが求められている背景を踏まえ、意欲的に商店街振興事業に取り組む商店街等に対して補助金を交付することにより、商店街や周辺地域の活性化を図る。					
	対象者	市内の商店街組織及び事業者グループ等	対象者数	12団体	一人当たりコスト	534.44	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>					
	事業概要	(1)イベント事業補助金 商店街等のイメージアップを図り、その活性化を促進するため、福知山市商店街等イベント事業補助金交付要領に基づき、商店街や事業者グループが行うイベント事業に対して補助金を交付する。1回の事業につき20万円を限度に補助(補助率1/2以内)。H30年度より1団体年間3回を限度とする。 (2)頑張る女性等応援事業補助金(H29年度をもって終了) 地域の女性グループ等が企画・立案し、商工団体が連携して実施する活性化事業に対して、1回の事業につき10万円を					
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目	具体的な内容			H29経費	
	負担金補助及び交付金	福知山市商店街等イベント事業補助金他			1,296		
	関連事業						
予算と執行の状況	区分		H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①	1,660	2,010	1,910	5,800	
		補正予算等・・・②	0	0	0	0	
		繰越し等・・・③	0	0	0	0	
	財源内訳	一般財源	830	0	0	0	
		国支出金	830	1,050	955	0	
		府支出金	0	0	0	2,000	
		地方債	0	0	0	0	
		その他特財	0	1,050	955	3,800	
		特定財源名称 (H29実績)	地方創生推進交付金		534	国補助金	18 頁
			地域振興基金繰入金		580	基金繰入金	36 頁
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0.24/0	0.35/0	0.35/0	/	
概算人件費・・・④		1,920	2,800	2,800			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤		3,580	4,810	4,710			
執行状況	執行額・・・⑥		1,435	1,296			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		86.4%	64.5%			
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		歩行者自転車通行量	人	3700/3948	4066/4025	/4103	4200
				/	/	/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		イベント実施回数	件	20/10	17/15	/15	
		単位あたりコスト		71.7	76.2		
イベント実施団体数		団体	9/9	9/9	/9	9	
	単位あたりコスト		159.4	144.0			

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	商業を活性化するのみならず、街全体の活性化につながる事業であり、その必要性は高い。中心市街地活性化基本計画においても「人・もの・情報が集まり、誰もが楽しく快適に暮らせるまち」を達成するための事業となっている。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	商店街の活力、結束、イメージの維持向上と街全体の活力の向上に有効である。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	単独の商店街だけでなく、複数の団体の連携によるより効率的で効果の高いイベント等にも取り組まれている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	イベント実施回数は見込数を超過して申請があり、また意欲的に商店街振興に取り組む組織数も維持しており、まちの賑わい創出・活性化に繋がった。	
	今後の課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント事業の経済効果と集客が一時的なものではなく、継続性のあるものになるような工夫が必要。 ・市内全域の活性化に向け、対象となる団体に広く利用を呼びかける。 		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	内 容 一過性の集客効果だけでなく、その後の継続的な商店街活性化につながるようなイベント事業を補助対象とできるよう啓発を進めるとともに、市全域の活性化に向け、対象団体に広く利用を呼びかける。 また、魅力ある商店街づくりを進めるためことを目的とした商店街施設改修等に対し支援する。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	災害復旧融資特別支援事業 (310119)			担当課	産業観光課		
	開始年度	平成25(2013)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	前田 剛		
	歳出費目	款) 商工費	項) 商工費	目) 商工業振興費	決算附属資料	182	頁	
	施策の大綱	商工業の振興			関連計画等	-		
	施策名	商業を活性化する			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	平成25年台風18号または平成26年8月豪雨による被災により災害復旧のための融資を受けた市内の中小企業者に対し、事業再建のために資金繰りの円滑化および経営の安定化を図る。						
	対象者	対象の融資を借り入れた中小企業者	対象者数	184	一人当たりコスト	54.30		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>						
	事業概要	京都府の融資制度「平成26年8月豪雨災害緊急融資」や日本政策金融公庫の融資制度「災害復旧貸付」、また市内各金融機関の災害復旧のために創設された融資を利用する中小企業者に対し、融資実行後から12回目までの支払利子相当額の補給、13回目から60回目までの支払利子相当額の2分の1の額を補給する。また、京都信用保証協会の保証を受けられた場合には、信用保証料の2分の1相当額を補給する。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		負担金補助及び交付金		平成26年豪雨災害補助金			6,829	
負担金補助及び交付金		平成25年台風18号災害補助金			762			
関連事業								
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		10,317	7,570	7,812	13,243	
		補正予算等・・・②		0	22	0		
		繰越し等・・・③		0	0	0		
	財源内訳	一般財源		10,317	7,592	7,812	13,243	
		国支出金		0	0	0		
		府支出金		0	0	0		
		地方債		0	0	0		
		その他特財		0	0	0		
		特定財源名称 (H29実績)					頁 頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.25/0	0.30/0	0.30/0	/	
概算人件費・・・④		2,000	2,400	2,400				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			12,317	9,992	10,212			
執行状況	執行額・・・⑥			9,755	7,591			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)			94.6%	100.0%			
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		交付件数	件	163 / 184	155 / 167	/ 140	0	
				/	/	/		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		利子補給金額	千円	9,755 / 10,317	7,591 / 7,570	/ 7,812	0	
		単位あたりコスト		-	-			
			/	/	/			
	単位あたりコスト		0.0	0.0				

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	平成25年台風18号または平成26年8月16,17日の豪雨により被災した中小企業者について、経営再建に向けて長期的に支援する必要がある。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	毎年同時期に申請書等を送付しているため事業所にも申請事務があることを理解してもらっており、スムーズに行っている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	長期的な利子補給を実施することで資金繰りの安定化を図っている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	繰り上げ返済(完済)等により利子補給額、件数は減少しており、豪雨災害後の経営の安定化が見込まれている。	
	今後の課題及び方向性	災害復旧融資を受けてから60回目までの支払利息の補給を行っていく。平成30年度は、台風18号災害融資は49回目～60回目まで、平成26年8月16,17日豪雨災害融資は37回目～48回目までの支払利子相当額の2分の1を、平成29年台風21号については1回目～12回目までの支払利子相当額の全額を補給する。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	平成31年度は平成26年8月豪雨の利子補給最終年度であり、保証料補給が多く見込まれるもの。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	まちづくり会社活動支援事業 (310219)			担当課	産業観光課	
	開始年度	平成20(2008)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	大西 孝治	
	歳出費目	款) 商工費	項) 商工費	目) 商工業振興費	決算附属資料	184	頁
	施策の大綱	商工業の振興			関連計画等	福知山市中心市街地活性化基本計画	
	施策名	商業を活性化する			根拠法令等	-	
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他(配当金)					
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	中心市街地活性化法に基づく法定構成員である福知山まちづくり株式会社に、事務職員の配置や災害復旧に係る償還助成などについて支援を行い、中心市街地活性化基本計画に基づくプロジェクトを機能的に着実に実行する。					
	対象者	福知山まちづくり株式会社	対象者数	1	一人当たりコスト	4,838.00	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> 福知山まちづくり株式会社					
	事業概要	中心市街地活性化基本計画に基づく各種事業を積極的に推進していくための中核的な実施主体の1つである福知山まちづくり株式会社に対し、体制整備とH26年の集中豪雨被害による復旧経費に係る金融機関からの借入れ利息及び保証料を支援する。					
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目	具体的な内容			H29経費	
	負担金補助及び交付金	まちづくり会社活動支援事業補助金			1,958		
	関連事業						
予算と執行の状況	区 分		H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算...①	5,994	1,958	1,909	1,847	
		補正予算等...②	0	0	0	0	
		繰越し等...③	0	0	0	0	
	財源内訳	一般財源	2,997	871	847	816	
		国支出金	0	0	0	0	
		府支出金	2,997	871	846	815	
		地方債	0	0	0	0	
		その他特財	0	216	216	216	
		特定財源名称(H29実績)	みらい戦略一括交付金		979	府補助金	26 頁
			まちづくり会社配当金		216	財産収入	32 頁
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0.25/0	0.36/0	0.36/0	/	
概算人件費...④		2,000	2,880	2,880			
総事業費(①+②+③+④)...⑤		7,994	4,838	4,789			
執行状況	執行額...⑥		5,994	1,958			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	100.0%			
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指 標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		歩行者・自転車通行量	人	3,700/3,948	4,066/4,025	/4,115	/4,200
				/	/	/	
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指 標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		福知山まちづくり機等によるイベント企画回数	回	8/5	6/8	/8	8
		単位あたりコスト		749.3	326.3		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト		0.0	0.0			

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	福知山市中心市街地活性化基本計画掲載の各事業を、効果的かつ着実に進めていくために、福知山まちづくり㈱が関係団体並びに市民グループ等と連携を図る体制を支援する必要がある。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	△	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	福知山まちづくり㈱に担当職員を配置することで、民間ならではのスピード感と豊富な活性化事業の経験による即時対応が可能となり、各事業の推進の強化と省力化を図ることができる。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	5年間と限られた期間で中心市街地活性化基本計画の各事業を着実に実施するため、福知山まちづくり㈱に担当職員を配置することで、調整機能等を強化し、事業の推進を図ることができる。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	福知山まちづくり株式会社の中活事業の推進にかかる事務管理部内について支援することで、中心市街地活性化基本計画に掲載されている事業の円滑な推進を図ることができている。	
	今後の課題及び方向性	第2期中心市街地活性化基本計画の中核的な実施主体の1つである福知山まちづくり㈱の運営体制を引き続き指導・支援することで、計画の着実な実行を図る必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	内 容 福知山まちづくり株式会社に対する人件費及び被災に係る借入利息等の支援を引き続き行つ。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	